

仙北市中央公民館5月事業「春のスポーツ体験教室」実施レポート

日 時：令和7年5月24日（土）午後2時～3時50分

会 場：大曲支援学校せんぼく校 体育館

参加者：せんぼく校卒業生、在校生、保護者、在校生兄弟、指定障がい福祉サービス事業所「愛仙」利用者、保護者、利用者兄弟 計80名

仙北市中央公民館では、共生社会実現のための取組の場として、大曲支援学校せんぼく校、指定障がい福祉サービス事業所「愛仙」と協働して障害者の生涯学習講座を実施しています。その一環として、今回はせんぼく校の体育館を会場とし、「春のスポーツ体験教室」が開催されました。仙北市の広報で周知を図ったほか、せんぼく校で午前中に在校生、卒業生、保護者が参加する学校行事と同日に体験教室を設定することにより、多くの方が参加していました。

仙北市職員（生涯学習課、公民館、市民会館）、せんぼく校教職員、指定障がい福祉サービス事業所の職員、センター職員で6競技のブースを運営しました。仙北市が担当したモルックのブースでは、昨年度、当センターが紙で作成したモルックを参考に、紙製のモルック使用してブースが運営されており、仙北市が単独で体験教室を開催できる体制作りが進められていました。また、参加者が興味を持った競技を自由に体験できるようにしたり、新たにe-スポーツ（ぷよぷよe-スポーツ）も取り入れたりし工夫をすることで、時間いっぱい楽しむことができていました。

当センターは卓球バレーのブース担当し、障害のある方、ない方も共に楽しむことができるように、ルールを参加者に合わせながら柔軟に対応したり、参加者の方とセンター職員がペアになって一緒にプレイしたりし気軽に楽しんでもらうことができました。他のブースでも工夫しながら進めることで、笑い声が絶えず、大盛況の体験教室となりました。

【スポーツ体験教室の様子】



【参加者全員で記念撮影】



【笑顔いっぱいの参加者】



【e-スポーツ】



【卓球バレー】

【参加者の声】

- ・友達と一緒に運動ができて楽しかった。（卒業生）
- ・卒業生と在校生が楽しく交流できる場は貴重。（特別支援学校職員）
- ・息子はこの会を楽しみにしている。スポーツを通していろんな人と話ができることが嬉しい様子。これからも続けてほしい。（卒業生保護者）